

10 精神腫瘍科

患者さんご家族が求める心のケアを

多職種緩和ケアチーム・コンサルテーション形式

他科・他施設と連携した研究活動

日本で最初のがん患者の心のケアの専門科

精神科医だけでなく治療医・緩和ケア医にも対応した研修コース

多職種緩和ケアチーム・コンサルテーション形式



- 抑うつ、不眠、せん妄などの精神症状だけでなく、相互に影響する器質的問題と精神的問題へのケア
- 医師、看護師、心理士、薬剤師、栄養士がかかわる包括的なアセスメント・ケアの習得
- 院内のすべての治療科からのコンサルトがあり、一般がん診療における普遍的な対応
- 診断時・積極的抗癌治療中・積極的治療中止後のすべての時期のがん患者への対応

日本で最初のがん患者の心のケアの専門科

豊富な臨床経験 2018年入院コンサルテーション件数
日本精神神経学会専門医認定施設

全症例	704名
精神科診断	
せん妄	254名
適応障害	71名
認知症	81名
大うつ病	24名
その他	160名
診断なし	114名



他科・他施設と連携した研究活動

- ・精神腫瘍学に関する幅広い研究（心理社会的・神経科学的）
- ・教育提言・施策提言
- ・岡山大学、名古屋市立大学との連携大学院

実施中・または計画中の主な臨床研究

- ・循環型の仕組みの構築に資する一般病院での身体合併症管理と認知症対応力の向上を目指した多職種協働による認知症対応プログラムの開発
- ・高齢がん患者向け総合評価指標（CSGA）の日本語版開発における言語的妥当性の検討
- ・認知症合併に対応した最適の治療選択と安全性の向上を目指した支援プログラムの開発
- ・がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄対応プログラムの開発

日本サイコオンコロジー学会をはじめとした学会発表



精神科医だけでなく治療医・緩和ケア医にも対応した研修コース

がん専門修練医コース

対象：当センターのレジデント修了者相当。応募条件の詳細は研修課程をご参照ください。

日本の精神腫瘍学をけん引する人材を育成する2年間コース

- ・1年目は多職種チームでのリーダーシップを持てるための臨床能力の獲得
- ・2年目は教育・研修または心理・社会・神経科学の分野での研究への参加

レジデント2年コース、3年コース

対象：採用時に医師免許取得後3年目以降の医師。応募条件の詳細は研修課程をご参照ください。

がん医療に必要な心理・社会・神経科学的臨床能力を持った精神腫瘍医育成コース

- ・精神科専門研修の経験がない医師も状況により受け入れ可能
- ・3年間の研修中に緩和ケアを含む他科ローテートを推奨

レジデント短期コース

3か月単位で1年間まで延長可能なコース。応募条件の詳細は研修課程をご参照ください。

精神腫瘍の基礎を学びたいがん治療医・緩和ケア医やがん医療やリエゾン領域での専門性を高めたい精神科医への推奨コース

- ・短期間で効率的な研修のために、研修開始前に目標・内容の相談を推奨

専攻医コース

基本領域専門医取得のための研修を目的としたコースです。研修期間および連携施設、研修医師の希望に応じて研修プログラムを編成します。

任意研修

精神腫瘍領域での見識と経験を深めたいと考えている医療従事者を対象に、無給ながら内容・期間ともに自由度の高い任意研修

- ・研修の目標と内容について、研修申し込み前に連絡し、個別に調整
- ・研究を主にかかわることも可能

▶▶ 研修に関するお問い合わせ先

国立がん研究センター 東病院
精神腫瘍科

科長：
小川 朝生

メールアドレス：
asogawa@east.ncc.go.jp

東病院精神腫瘍科レジデントプログラム HP
<https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/clinic/psychiatry/resident/>



Facebook 東病院 教育・研修情報
<https://ja-jp.facebook.com/nceasteducation/>

